



令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年2月6日

上場会社名 日本ルツボ株式会社
 コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 正志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長 (氏名) 広野 玲緒奈

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 令和2年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	7,101	△0.6	317	△24.7	348	△24.9	240	△11.4
31年3月期第3四半期	7,146	9.2	421	9.1	464	15.9	270	6.5

(注)包括利益 2年3月期第3四半期 294百万円 (115.7%) 31年3月期第3四半期 136百万円 (△64.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	177.21	—
31年3月期第3四半期	199.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第3四半期	11,144	4,731	42.5	3,500.49
31年3月期	11,307	4,532	40.1	3,352.64

(参考)自己資本 2年3月期第3四半期 4,731百万円 31年3月期 4,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2年3月期	—	0.00	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	△1.2	450	△19.3	470	△21.9	330	△18.4	244.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	1,409,040 株	31年3月期	1,409,040 株
② 期末自己株式数	2年3月期3Q	57,387 株	31年3月期	57,387 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	1,351,653 株	31年3月期3Q	1,351,677 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体として緩やかな回復となったものの、輸出および生産が弱含むなかで、製造業を中心に減速感が一段と増しました。先行きに関しましては、各種政策の効果が期待される場所ではありますが、輸出の低迷を背景に企業の業況判断の慎重さが増しており、また米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響、これに伴う中国経済の先行きなどの重大な懸念材料もあって、極めて不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、輸出が落ち込んでおり、国内生産台数・販売台数が昨年夏から秋にかけて前年比減少に転じるなど、停滞感が増しております。

鉄鋼産業は、国内粗鋼生産量の前年比減少が続いていることに加え、中国の粗鋼生産が引き続き高水準を維持しており、また米国の鉄鋼輸入制限措置などの需要下振れリスク要因もあって、先行き予断を許さない厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は71億1千万円と前年同四半期比0.6%減少いたしました。利益面では、営業利益は3億1千7百万円（前年同四半期比24.7%減）、経常利益は3億4千8百万円（前年同四半期比24.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期の台風21号・24号の被害による受取保険金を特別利益に、確定被害額を特別損失に計上したこともあり2億4千万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。

①事業の分野別業績

鑄造市場向けは、自動車関連産業の落ち込みを受け、売上高は30億2千6百万円（売上高比率42.7%）と前年同四半期比7.2%減少いたしました。

鉄鋼市場向けは、高炉工事の減少等により、売上高は11億1千8百万円（売上高比率15.7%）と前年同四半期比3.9%減少いたしました。

溶解炉・環境市場向けは、主として炉修工事の増加により、売上高は20億8千2百万円（売上高比率29.3%）と前年同四半期比10.4%増加いたしました。

海外市場向けは、タイ向け出荷の増加等により、売上高は5億6千9百万円（売上高比率8.0%）と前年同四半期比5.3%増加いたしました。

不動産事業は、売上高は3億6百万円（売上高比率4.3%）と前年同四半期比3.1%増加いたしました。

②事業の種類別セグメントの業績

セグメント別の売上高は、耐火物等事業が44億4千4百万円（売上高比率62.6%）と前年同四半期比7.5%減少し、営業利益は3億8百万円と前年同四半期比33.8%減少いたしました。溶解炉・環境関連市場向けのエンジニアリング事業は23億5千1百万円（売上高比率33.1%）と前年同四半期比14.9%増加し、営業利益は2億6千8百万円と前年同四半期比31.0%増加いたしました。不動産事業は3億6百万円（売上高比率4.3%）と前年同四半期比3.1%増加し、営業利益は1億6千3百万円と前年同四半期比0.5%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比5千1百万円（0.8%）減少し、66億8千8百万円となりました。主として、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比1億1千2百万円（2.5%）減少し、44億5千7百万円となりました。主として、製造設備の減価償却によるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1億6千3百万円（1.4%）減少し、111億4千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億4千5百万円（3.6%）減少し、39億3千4百万円となりました。主として、電子記録債務の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比2億1千7百万円（8.1%）減少し、24億7千9百万円となりました。主として、長期借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2億円（4.4%）増加し、47億3千1百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は42.5%（前連結会計年度末は40.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の通期連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）につきましては、令和元年11月7日に公表いたしました通期連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示する予定です。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,594,694	1,614,197
受取手形及び売掛金	3,224,162	3,116,367
電子記録債権	180,265	203,550
商品及び製品	590,565	618,097
仕掛品	314,192	346,454
原材料及び貯蔵品	619,791	672,948
その他	214,596	116,091
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	6,738,255	6,687,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,560,879	1,540,247
機械装置及び運搬具(純額)	574,409	542,363
工具、器具及び備品(純額)	45,844	65,731
土地	119,850	119,850
リース資産(純額)	404,219	327,783
有形固定資産合計	2,705,201	2,595,974
無形固定資産		
のれん	283,562	267,203
その他	106,724	103,323
無形固定資産合計	390,286	370,526
投資その他の資産		
投資有価証券	660,292	690,687
関係会社出資金	267,389	321,882
繰延税金資産	362,742	307,122
その他	183,207	170,611
貸倒引当金	△272	△272
投資その他の資産合計	1,473,358	1,490,030
固定資産合計	4,568,845	4,456,530
資産合計	11,307,100	11,144,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	741,376	749,798
電子記録債務	1,012,042	874,022
短期借入金	1,477,914	1,665,958
リース債務	67,624	61,204
未払法人税等	99,180	8,993
賞与引当金	217,745	92,649
役員賞与引当金	24,350	18,576
その他	439,442	462,993
流動負債合計	4,079,673	3,934,193
固定負債		
長期借入金	1,438,568	1,209,710
リース債務	320,137	303,434
役員退職慰労引当金	91,667	72,994
退職給付に係る負債	636,230	685,510
資産除去債務	8,500	8,500
その他	200,723	198,439
固定負債合計	2,695,825	2,478,587
負債合計	6,775,498	6,412,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	60,700	60,700
利益剰余金	3,716,585	3,861,502
自己株式	△69,723	△69,723
株主資本合計	4,412,082	4,556,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,835	187,657
為替換算調整勘定	△61,315	△13,212
その他の包括利益累計額合計	119,520	174,445
純資産合計	4,531,602	4,731,444
負債純資産合計	11,307,100	11,144,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	7,146,403	7,101,303
売上原価	5,222,758	5,276,439
売上総利益	1,923,645	1,824,864
販売費及び一般管理費	1,502,472	1,507,839
営業利益	421,173	317,025
営業外収益		
受取利息	49	67
受取配当金	20,854	25,111
受取家賃	15,613	16,927
持分法による投資利益	14,357	6,389
その他	18,114	7,529
営業外収益合計	68,987	56,023
営業外費用		
支払利息	25,681	23,684
手形売却損	733	363
その他	—	954
営業外費用合計	26,414	25,001
経常利益	463,746	348,047
特別利益		
受取保険金	—	※ 44,127
特別利益合計	—	44,127
特別損失		
災害による損失	※ 62,021	※ 15,942
固定資産除却損	798	2,062
特別損失合計	62,819	18,004
税金等調整前四半期純利益	400,927	374,170
法人税、住民税及び事業税	72,025	82,028
法人税等調整額	58,576	52,609
法人税等合計	130,601	134,637
四半期純利益	270,326	239,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,326	239,533

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)
四半期純利益	270,326	239,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89,675	6,822
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,165	48,103
その他の包括利益合計	△133,840	54,925
四半期包括利益	136,486	294,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,486	294,458

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 災害による損失及び受取保険金

平成30年9月の台風による損害額を「災害による損失」として計上しております。主として、建物・設備等の原状回復費用であります。

また、これに伴い受領した損害保険金を「受取保険金」として計上しております。